

2025年度 第2回教育課程編成委員会 議事録

【開催概要】

(1) 日 時：2026年3月23日（月） 14時00分～15時00分

(2) 場 所：YIC校舎2階応接室1

(3) 出席者：

外部委員

委 員：阿部 誉久 様

委 員：突貫 光正 様

本校教職員

校 長：河津 道正

副校長：小田 政江

事務長：日當 泰浩

事務長補佐：三船 龍

教務課係長：橋口 浩太

1. 開会

副校長より挨拶。教育課程編成に関する意見交換と改善に向けた協力の要請があった。

2. 今年度の総括と取り組み報告

(1) 在籍数の推移

- **2年生**：期首17名、卒業時17名（全員無事卒業）。
- **1年生**：転科や退学等を経て、最終的に28名が2年生へ進級予定。
- **新年度（2026年4月）**：入学予定者40名（定員充足）。

(2) 検定取得状況

- Word、Excel、簿記等において、目標取得率をおおむねクリア。
- **要因**：全員一律の受験から、学生の進路に合わせた**選択制**を導入したことで、取得率が向上した。
- **その他**：税務職員志望者が自主的に日商簿記3級を取得するなど、個別の動きも見られた。

(3) 就職・進路状況

- **内定率**：**88.2%**（希望者17名中15名決定）。
- **内訳**：公務員12名、民間企業・団体職員3名。
- **未決定者（2名）**：1名はアルバイトをしながら再チャレンジ、1名は現在試験進行中。「卒業後10年サポート」制度により継続支援を行う。
- **学生の傾向**：強い**地元志向**（山口県内）があり、転勤の範囲や友人の存在が選択に影響している。

(4) インターンシップ

- 1年生を対象に8月に実施。今期は全員が公的機関で実施し、教育の質を向上させた。

3. 課題への取り組みと改善結果

(1) 授業時間数の適正化

- 数的推理等の単位数を削減したが、演習中心のスタイル（解法の要点を絞った解説）へ移行したことで、密度が向上。合格実績への悪影響は見られなかった。
- 90分で40～50問を解く公務員試験に合わせ、短時間で成果を出す訓練を継続している。

(2) キャリア科目の新設

- 公務員試験合格後を見据え、普通救命講習、交通安全学習、マネープラン、一人暮らし料理教室などを実施。社会人としての体調管理や将来設計の意識付けを行った。

4. 2026年度 教育課程の変更案

- **科目統合：**
 - 「数的推理」と「資料解釈」を統合し「**数的処理**」へ。
 - 「教養総合演習」と「事務適正演習」を統合し「**公務員総合演習**」へ（体力テストや面接対策も含む）。
- **名称変更：** 実務との関連性を明確にするため「コミュニケーション演習（接遇マナー）」「ビジネス実務演習（文章能力）」「情報処理（Word/Excel/PowerPoint）」等へ変更。
- **検定取得の早期化：** アピールポイント確保と、後期からの公務員試験対策に集中するため、1年目前期での3級取得を必須化する。

5. 2027年度以降の学科・コース改編計画

- **公務員総合学科（2年制）へのコース設置：**
 - 1年次は共通カリキュラムで職業理解を深める。
 - 2年次より「行政コース」と「公安コース」に分かれ、専門特化した教育（ビジネススキル向上、または体力トレーニング等）を実施する。
- **公務員学科（1年制）：** 短期間での合格を目指す「短期集中型」として位置付け、再編する。

6. 質疑応答・意見交換

- **AIの活用：** 面接練習の評価や、卒業研究における地域課題のデータ分析などで活用を検討中。
- **体力トレーニング施設：** コスト面から民間施設の法人契約は断念し、近隣の公的施設（小郡ふれあいセンター）や、移動時にはシェアサイクルの活用を検討する。

7. 今後の予定

- 第1回委員会（次年度）：2026年10月中旬
- 第2回委員会（次年度）：2027年3月中旬